

## 第75回卒業証書授与式

3月1日(日) 温かい日差しのもと、第75回卒業証書授与式が行われました。多くの来賓の方々、保護者の方々に囲まれ、厳粛な中にも温かい雰囲気にも包まれ式典となりました。心温まる祝電もありがとうございました。卒業生30名を加え9458名の卒業生を送り出すことができました。

### 式辞 石田 充 校長

2月に開催されたミラノ・コルティナオリンピックで史上最多のメダル数獲得した日本選手団。選手のインタビューでは自分を支えてくれた人達への感謝を口にしていました。皆さんも同じように、一人で頑張っているのではないことに気づき、周囲の人に対して感謝の気持ちを持ち、さらに成長し、「幸せを与えられる人」から「与える大人」になってほしいと願っています。

校訓「克己復礼」の精神と自らを育ててくれたふるさとの素晴らしさを忘れずに、誠実に、前向きに、一步一步進んでいってください。それぞれに目指す道で、自分らしい夢をつかみとってくれることを祈念し、式辞といたします。

### 送辞 在校生代表 村上 愛海

「有言実行」をスローガンに掲げ様々な活動に取り組んできました。六月に行われたスポーツ祭では、競技で活躍される姿だけでなく、幹部として準備や運営に尽力される先輩方の姿が強く印象に残っています。何度も準備を重ね当日も全体を見渡しながら声を掛ける姿から、責任感とスポーツ祭にかける強い思いが伝わってきました。

先輩方に教えて頂いたことや伝統を引き継ぎ一人一人が主役になれる荒砥高校を目指していきます。

### 答辞 卒業生代表 伊藤 心結

この荒砥高校でたくさんの方に挑戦してみてください。私も最初は、自分に自信が持てず新しいことに挑戦するのが怖いと思うこともありましたが、温かな校風に包まれ、先生たちや友人たちが支えてくれたおかげで「**やってみよう！失敗しても大丈夫。**」そう思える安心感があります。

私たち30名は自分で決めたそれぞれの道を歩き、荒砥高校で身につけた力や思い出を胸に、これからも大きく飛躍していきます。

